

新年最初の協議会ニュースです！ 学生アイデアコンテスト結果発表！！

— 第48回目の協議会の概要 —

第48回協議会が12月23日(水)に開催されました。今回は、地域の方々、スタジオ★へそちくの方々、横浜国大の教員・学生の計22名の参加がありました。

協議内容は、12月12日(土)のべっぴんマーケットに参加した各プロジェクトの成果報告が主で、その他、地域の治安・防犯対策の現状という大切な問題についての話がありました。

— 親しみやすい和田町に！ — 国大生のアイデア紹介

国大では、「学生が暮らしやすく・使いやすく・親しみやすい和田町」というテーマで、学内で作品を募集しました。和田町と学生をつなぐような事業アイデアを求める**提案部門**には12点、和田町の良い所を写真におさめる**表現部門**には4点の応募がありました。



← 発表に熱心に耳を傾ける人々

12月12日(土)のべっぴんマーケットで作品を紹介し、みなさんに投票していただいたところ、**両部門合わせて186票**が集まりました！投票にご協力いただきありがとうございます。

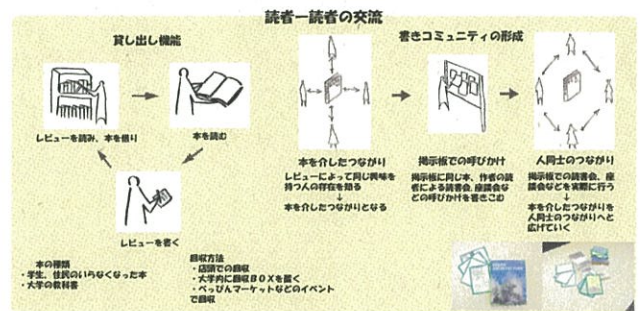
提案部門の多彩なアイデアから入賞した作品を、ここに発表いたします。

最優秀賞の『書きコミ図書館』は、本を媒介として学生と町の人々との交流を促す企画です。すぐにも実現できそうなアイデアですね。

優秀賞の『商店街に畑をつくる』は、身近な食生活に着目して、女性の方々に高い評価を受けました。

この他の作品にも、それぞれ独自の視点があり興味深いものでした。これらのアイデアは、今後和田町のみなさんにゆくり見ていただく機会を設け、タウンマネジメント協議会で実現に向けて具体的に検討していく予定です。

最優秀賞 『書きコミ図書館』

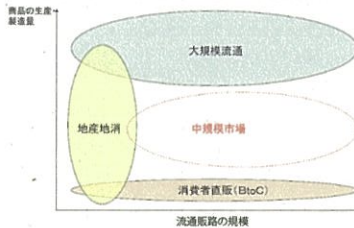


空き店舗を利用したミニ図書館に、掲示板など自由に意見や情報を書き込める場を用意して、利用者間のコミュニケーションを生み出すことで、情報交換や交流を図ります。

優秀賞 『商店街に畑をつくる』

なぜ和田町に**野菜工場**なのか

現代の消費市場
・消費市場は多岐多岐
・サービスに明確なコンセプトがないと「飽和状態」を招きやすいため、生き残れない(激しい競争)



サービス業に求められていること

顧客へのサービス提供の向上
顧客とのコミュニケーションを深め、関係性を築き、サービスを継続していく

しかし ↓

外部に対する意識が低い(和田町ではそれができていない)

私たちのテーマ

- 和田町と外部とを結びつける
- 街にあらたな価値、ブランドを創ることで、和田町の方向性を確立させる

相鉄ROSEN跡に野菜工場を作ります。農工商学の連携によって新たな地域ブランドを確立することで、他の街との差別化を図り、和田町を外に広くアピールします。

— 編集後記 —

あけましておめでとうございます(´0`)/
昨年は天候に恵まれ、行事などに盛り上がりが見られました。今年もさまざまな取組や行事をわかりやすくお伝えしていきたいと思ひます。
どうぞよろしくお祈りします。

和田べん
プロジェクト